

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 元年 12月 3日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200577		
法人名	有限会社 メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム千同ひまわり		
所在地	広島県広島市佐伯区千同2丁目6-29 (電話) 082-924-2567		
自己評価作成日	令和元年11月14日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200577-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200577-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年12月2日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域とのつながりは更に強くなっている。「いきいき百歳体操」の場所の提供は人数が増えたため終了したが、多くの近隣ボランティアを紹介してもらい年間を通じて活動してもらい、今までにも増して「地域の」ボランティアの方が増えた。職員が個人的に町内の方から声を掛けられ、お手伝いをする事も増えた。町内のイベント（夏祭り・町内一斉清掃・秋祭り・門松作り・新年会等）にも継続して参加している。千同保育園との交流も続いており、卒園後も施設に遊びに来てくれる子供もいた。開所から7年が過ぎ、地域の資源と認知されてきてると実感している。入居者様の高齢化と重度化が進んでおり外出が負担になる入居者様もいるが、ホーム内で出来るご家族参加型の行事（バーベキュー大会・かき氷フェスなど）も行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者本位のケアプランを作成し実施する事に取り組んでいる。例えば「利用者が得意なことを行い、それに感謝することで利用者が自信を持って生活する」ケアプランとしている。地域住民からの設立要望で開設した経過があり、地域住民と事業所の結びつきが強い。町内会の清掃や夏祭りに職員が協力し、夏祭りや秋祭りの子供みこしでは、利用者が地域住民と交流している。また、町内会がクリスマスイルミネーションや門松の飾りつけを行い、地域の住民がボランティアとしてフラワーアレンジメント・話し合いの活動を行っている。食事は、利用者の要望が献立に反映され、3食手作りで提供されている。また少人数単位の夕食や外出を積極的に実施している。

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念を掲げホームのケア目標・活動目標を毎朝朝礼で唱和して共有と実践につなげている。	法人の基本理念「ふれあいと安心」の下に、ケア目標と活動目標が設定され、朝礼で唱和し共有している。「ケア目標」に関する『毎月の目標』を職員と相談して決め、実践している。二つの目標に対する評価は、年2回の職員面談で行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会へ入り、町内掃除や夏祭りなどの地域行事に参加している。地域の方が門松作りやホームの壁にイルミネーションの装飾など協力して下さる。また、地域の方のフラワーアレンジメントや大正琴などのボランティアの方にも来てくださり近くの保育園児との交流も毎年行っている。	町内会に加入し、職員が清掃や秋祭りに協力し、夏祭りや秋祭りの子供みこしでは、利用者が地域住民・子供と交流している。近隣の保育園と年2回の交流の機会がある。町内会がクリスマス・イルミネーションと門松を飾り、地域住民がボランティアとしてフラワーアレンジメントや日本舞踊などの活動を行い事業所に協力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方の身内や知人が施設入居をお考えの場合、見学やご相談を快くお受けし支援の方法を援助している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は2か月に1度開催し、ご家族や地域の方々が毎回参加され活発な意見が交わされており、そこで出た意見は参考にし、サービス向上に活かしている。	運営推進会議は定期的に行われ、毎回、活発な意見交換がされている。また、年1回、家族会と同一日に開催し多数の家族が参加している。会議では、「身体拘束に関する事業所の取り組み」「事故・ヒヤリハット事例の分析やその後の対策」を報告している。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には、認知症地域支援推進員や地域包括支援センターに通知、参加して頂いており情報の共有を図っている。区役所へ議事録を持参し、次回の参加案内も行っている。	運営推進会議に、地域包括支援センターと認知症地域推進委員が参加し、意見交換している。市介護保険課と利用者に関する事を相談することがある。市からの要請で「『認知症サポーター養成講座』のフォローアップ講座」の施設見学研修を今年度、引き受け協力している。	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人全体で「身体拘束排除マニュアル」を策定している。事業所では勉強会を通して全職員が正しく理解できるよう努めている。日中は玄関を施錠せずセンサーで見守りを行っているが不審者対策として各階の出入り口を施錠することもある。	身体拘束に関する法人グループ研修・事業所研修を実施している。法人グループ内の「身体拘束適正化委員会」を毎月開催し、運営推進会議でも現状の報告をしている。医師からの指示で「やむを得ない身体拘束」として拘束衣を使用した。週1回の評価を行い、3か月で解除に至った事例がある。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会や研修を通じて学んでいる。日常においても見過ごされることがないように職員は入居者様への対応に気を配り防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修や資料を通じて学び理解している。必要と思われる入居者様には制度の紹介をし活用できるよう支援する。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結、解約又は改定等の際は、疑問や不安な点には十分な説明を行い理解・納得を図っている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ケアプラン更新時や面会時に意見、要望をお聞きしたり運営推進会議や家族会、意見箱、アンケート等でも意見を述べる機会を設けて日頃のケアに反映している。	家族の意見は、年1回の家族会・敬老会やクリスマス会などの家族が参加する行事と面会時に聞いている。また、年1回、法人グループのアンケートを実施し結果を分析している。家族の意見により、清掃計画を立て、施設内を清潔に保つ取り組みを行うようにした。	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月スタッフ会議を行い、職員の意見や要望を聞く機会を作っており、良い提案であれば改善につなげている。またスタッフ会議に限らず、随時意見や要望を提案しやすい環境、雰囲気作りにも努めている。	月1回の全体職員会議で職員の意見を聞き、参加できない職員も意見を提出している。また、法人グループから看護部長や総務部長が週1回来所して職員の意見に耳を傾け、必要に応じて会議で検討している。職員間でヒヤリハットの分析・対策を話し合いチームケアに取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課制度により、個人努力や目標について、詳細に聞き取りを行っている。時間外労働のないよう声掛けを行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人本部による研修、外部研修についての案内を、職員全員が閲覧できる場所に置き、参加できる機会を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同区内の同業者間でネットワークを形成し、勉強会や交流会に参加し意見交換を行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	関連法人の相談員と協働しながら、担当ケアマネから情報を収集している。入居される前に面談を行って、生活歴の把握に努めたり、困りごとや不安、要望を傾聴し、わかりやすい言葉で説明し安心して頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりを努めている。	利用を開始する前に、見学に来て頂き面談を行う中で、ご家族が抱えておられる困りごとや不安、要望について傾聴し、それらを一緒になって解決する姿勢で、信頼関係を築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人やご家族のお話を傾聴させていただき、その時に必要と思われるサービスを選択し提供できるよう努めている。訪問歯科や訪問マッサージ等、希望にも配慮しながら、外部のサービスも利用して頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	生活の中に役割を持っていただき、職員は感謝の言葉を伝える事で、それを生きがいに繋げていけるよう支援している。時には職員も、年長者であるご利用者から、いろいろ教えて頂くこともあり、信頼関係も構築できている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族にも、共に本人を支える立場との認識を持っていただけるよう、施設の中での生活の様子や状況について、こまめに情報共有しながら、可能な限り面会に足を運んでいただき、本人と一緒に過ごす時間を持つことで、絆を深められるよう支援をいただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご利用者が通っておられた理美容に継続して通えるよう、ご家族と協力しながら支援している。又住み慣れた自宅に外泊し、家族と一緒に過ごす時間を持つよう、ご家族と協力しながら支援している。ドライブで、ご自宅の前や近所を通り様子を見る事で、本人の思いにより添えるよう支援している。	今まで利用していた理美容院を家族の協力で利用したり、今までの主治医に往診してもらい、定期的に自宅に帰るなど馴染みの関係の継続を支援している。また、地域住民との交流を通して「利用者と地域住民の馴染みの関係」が出来た事例もある。	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者様の関係に考慮して食事の席を決め、関わりやすい環境にしている。ハーモニカの得意な方に演奏してもらい、みんなで歌を歌うなど趣味活動を通して関わりを持ち、お互いに声かけあい支えあえる関係づくりに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	体調不良や骨折などで入院されている方には、時々、職員がお見舞いに行き様子をお伺いしている。ご家族様にも連絡をし不安な事や心配事があれば傾聴している。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で話をし本人の思いや希望をお伺いしている。また、意思表示が難しい方には、日頃からご本人の思いが理解できるように表情を見たり、ご家族からの情報から汲み取るようにしている。生活行動記録に記録し共有できるようにしている。	日々の会話などから把握した利用者の意向や要望は、利用者毎の「情報共有ノート」に記入し職員間で共有してケアプランに反映している。編み物やハーモニカ演奏など利用者が得意なことを継続してもらおうケアプランがある。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時の基本情報だけでなく、継続的に日々の会話の中やご家族・面会に来られたご友人などからも生活歴などの情報収集を心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の過ごし方や会話、毎日の生活の中でいつもと違う様子のときなどは、行動記録に残している。職員間で把握できるように個人ノートに記入している。また、職員で意見交換にミーティングノートを使っている。		

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者様の担当者が3か月毎または、必要時にモニタリングを行いカンファレンスを行い職員間で意見交換を行っている。また、日頃からご本人やご家族の思いを聞きケアプランに取り入れ作成している。</p>	<p>利用者毎に担当者を決め、担当者はモニタリング・アセスメントを行っている。ケアカンファレンスでは担当者からの報告後、職員・看護師からの意見を取り入れ、本人・家族の要望を聞き、計画作成者がケアプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者様の日々の気づき、家族の伝達事項や受診などの体調面などを日々の記録に記入すると共にノートに記入し、共有している。また、ケアプランの実践内容を#を使って記入することで見直ししやすくしている。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議などで地域の方や家族の意見を取り入れたり、アンケートの意見を精査し日々の支援やイベントやサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の夏祭りの参加や保育園の園児たちとの触れ合い、子供会の神輿が来たりしている。年に一度は、グループホームでの家族会を開催し家族間の交流も図っている。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>希望があれば入居前のかかりつけ医の受診も可能で基本は、母体である野村病院での受診を行っている。希望者は、週1回の訪問歯科の受診も受けられる様にしている。</p>	<p>利用者と家族の要望でかかりつけ医を決めている。協力医をかかりつけ医とする利用者が多いが、今までの主治医が往診する利用者もいる。家族が付き添って受診する際には、利用者の情報を記載したサマリーを持参している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員に看護師がおり、日常的に相談している。訪問看護師にも訪問看護記録を利用し、日常の気づきや情報交換、共有に努めている。訪問看護師から担当医へ報告や相談してもらい、必要時は受診できるように連携体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族に担当医から病状や治療方針についてその都度説明が行われご家族やご本人の意向を聞かれている。相談員から報告があり必要な時は、直接ご家族へ、電話などで話をし、安心していただけるようにしている。また、お見舞いへ行き看護師に状態を聞いたりしている。気になることは相談するなど協力しながら行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族会や運営推進会議のときに、終末期のあり方について、説明を行っている。また、個別には、その時々に関後についての方針を話し、本人・ご家族の意向を踏まえ主治医や看護師と連携をとりながら、できるケアを行っている。今年、1件看取りを経験している。	入居時に、重要事項にある「重度化した際の指針」と「看取り加算」について説明している。重度化した際には、医師が利用者の状況を説明して今後の方針を決め、家族の意向に沿った支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の流れや対応について、その都度話し合いをし、対応できるようにしている。個々の病状について注意しないといけない時などは、個別に対応方法を決め、職員が把握できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を毎月行い全職員がその方法を身につけられる様に取り組んでいる。また、年2回は、消防署の立ち合いの訓練も行っている。地域の方とは、運営推進会議で避難場所の確認や協力していただけると言葉もいただいでいて、自動火災通報装置に電話番号も登録させてもらっている。	毎月、避難訓練を実施し「通報の手順・避難経路の確認」を行っている。年2回の訓練は、消防署立ち合いの下、連絡先として登録している地域住民も参加している。水害訓練対策として「垂直避難」も年1回実施している。災害時に、発電機・井戸水・車いすを住民が提供する協力案もある。	



自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入浴や排泄ケアなどは、お一人お一人行い、ドアを閉めるなどのプライバシーに配慮している。ケアの際は、毎回お声かけをし、尊厳を大切にしよう努めている。また、勉強会や研修で学び、スタッフ間で、疑問に思ったことや気づいた事を話し合いケアに役立っている。	「身体拘束・人権擁護研修」や「新規採用職員研修」の際に、人格尊重について説明している。職員は、個人情報 を漏えいしないことを遵守している。申し送りの際には、利用者のプライバシーに配慮して、利用者の名前を出さないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で、本人が思いや希望を表したり、自己決定できるような声掛けをしている。散歩、買い物、外出、外食等、本人の意向を尊重し支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員側の決まりや都合を優先せず、一人ひとりのペースや思いを大切にそそれに沿ったケアを実践している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の意向に沿って洋服を選んでいただいている。カットも行きつけの美容院へ行かれる方がおられたり、ホームへ美容師さんが来られてご家族・ご本人の要望を伝えカットしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居前に食事の好みや嫌いな物を聞き献立に取り入れたり、何が食べたいかを聞き献立に取り入れたりしている。庭で収穫した野菜や果物が食卓にあがることもある。出来る範囲で食器を洗ってもらったり、ごますりなどのお手伝いをいただいている。	毎日の献立は利用者の要望を反映し、3食とも手作りで提供している。菜園やプランターで栽培した野菜を料理に利用することもある。少人数での外食、医師の許可の下でのアルコール提供など利用者が食事を楽しむ工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分は10時15時のティータイムと3度の食事時や散歩や外出後、入浴後に飲んで頂いている。ご本人の希望でジュースや牛乳など好きな物を飲んで頂いている。食事量や形態もひとりひとりに合うように提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>訪問歯科を利用され定期的に口腔内のケアをして頂いている。義歯の方は毎日夜間に消毒をし、義歯の無い方は職員が仕上げ磨きをし残渣が無いか確認をしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>出来るだけトイレでの排泄をして頂く為に午前・午後共に数回のトイレ誘導の声掛けをし、トイレで排泄出来るように支援している。</p>	<p>排泄パターンを把握してトイレ誘導をしている。法人内で「排泄マイスター」を養成し、今後は事業所で排泄指導を行ってもらう予定である。トイレには、可動式手すりを設置し、排泄時の自立を支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>野菜を多く摂って頂ける様な食事の提供や水分補給、運動不足にならない様毎日の体操や散歩をしている。便秘の方には主治医と相談の上、薬を飲んでもらい調整している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者様のご希望の曜日に入浴をしたり、一番風呂をご希望の入居者様には希望に添える様配慮をしている。</p>	<p>週に2~3回入浴するようにし、介護度が高い利用者はシャワーチェアを使用して入浴している。ゆっくりと入浴して頂き、利用者とは色々な話をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	お一人おひとりのその日の体調 や気分をお聞きし、ご希望の時 間に入眠して頂くようにしてい る。自室の電気や空調もご本人 の希望に添えるよう支援してい る。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている。	入居者様個々の病名や内服薬の 表を作成しており職員がいつも 確認出来るようにしている。副 作用が記載してある処方箋も入 居者様別にファイルし確認出来 る場所に保管してある。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	毎日の張り合いや役割のある生 活を過ごせるように一人ひとり に合った役割や家事活動をして 頂いている。洗濯たみやお膳拭 きなどをして頂いている。楽し み事としては、外食やドライブ、 訪問パン屋さんや読み聞かせボ ランティアさんに毎月来て頂い ている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。	毎日近所への散歩や施設の敷地 内の花壇や畑への散策をしてい る。近くの保育園の運動会や公 園のお花見、植物公園や宮島観 光も毎年している。町内会主催 の夏祭りもご希望のご家族と 参加している。秋祭りの子供神 輿も施設前に来て頂き地域との 交流を大切にしている。	天気の良い日には、出来るだけ 散歩するようにし近所のコンビニ での買い物を楽しむこともある。 少人数単位の外出やドライブを 行い、植物公園・アジサイ寺・ 造幣局などに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひ とりの希望や力に応じて、お金 を所持したり使えるように支 援している。	ご家族の了解を得られた入居者 様はご自分で所有し管理して頂 き、買い物をされた時は職員が その都度確認をしている。管理 が困難な入居者様は立て替えて 外食や買い物を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族とお話がしたい、伝えたいことがある、とご希望された入居者様には電話を掛けてお話をさせて頂いている。ご自分で携帯電話を所持している入居者様で操作が難しいと言われる方は職員がお手伝いをしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングなどの共同空間は季節感を感じられる様な心地良い空間を提供している。ソファやマッサージチェアも自由に使用して頂いている。リビングの明るさは時間に合わせ電気やカーテンで調節している。温度や湿度も管理している。	利用者が集まるリビングは、食事の場と利用者が寛げる場所があり、利用者のためのソファ・マッサージ機が配置されている。台所は、対面タイプで、利用者を見守ることが出来、職員と利用者が声をかけあっている。クリスマスなどの季節の飾りつけをして利用者を楽しませている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ゆっくりひとりで過ごしたい方はソファでくつろいで頂いている。他者様との会話を楽しませたい方はダイニングテーブルで会話をされている。マッサージチェアもお好きな時に使用して頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にご自宅で使い慣れた家具を持って来て頂いたり、愛着のある洋服持参して頂いたり、思い出の人形やアルバムを居室に置いてもらっている。	今まで利用していたソファやタンスを居室に持ち込んで居心地よく過ごせるようにしている。また利用者の趣味である「編み物」「ハーモニカ演奏」「書道や写経」などの道具を持参して趣味を継続している利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりはリビング、廊下、トイレ、お風呂にも設置している。一人ひとりが車椅子や歩行器やシルバーカーで希望の場所に安全に移動出来るように通りやすい広さでダイニングテーブルなどの配置をしている。		

V アウトカム項目( 1F ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	活動目標を「地域との交流を大切にします」とし毎日朝礼で唱和している。町内会の行事で（町内掃除・夏祭り・新年会など）に参加したり、近くの保育園とも交流を持たせてもらっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会へ入り、町内掃除や夏祭りなどの地域行事に参加している。地域の方が門松作りやホームの壁にイルミネーションの装飾など協力して下さる。また、地域の方のフラワーアレンジメントや大正琴などのボランティアの方にも来てくださり近くの保育園児との交流も毎年行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方の身内や知人が施設入居をお考えの場合、見学やご相談を快くお受けし支援の方法を援助している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は2か月に1度開催し、ご家族や地域の方々が毎回参加され活発な意見が交わされており、そこで出た意見は参考にし、サービス向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には、認知症地域支援推進員や地域包括支援センターに通知し議事録を区役所へ持参している。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所の身体拘束研修だけでなく、外部の研修にも全員ではないが参加して理解を深めている。日中は、玄関の施錠はしていないが不審者対策として各階を施錠することもある。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会や資料を通して虐待について理解している。日常的にもケア内容について虐待に当たらないか職員間でも注意している。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修や資料などで「権利擁護」について理解しており、入居者様の状態を日頃から充分理解できるようコミュニケーションを図り、職員間でも情報交換をして、必要と思われる入居者様には、制度の紹介や相談をしている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、疑問や不安な点にお答えし、十分に説明した上で、納得・理解をしていただけるよう努めている。また、利用後も変更などがある場合は、その都度お話をし、納得していただけるように努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ケアプラン変更時には職員と意見交換できる時間を設け、日々のケアに反映できるようにしている。また、運営推進会議や家族会の時には、情報を伝え、ご家族の意見をいただいたり、玄関にも意見箱を設置し、誰でも記入できるようにしている。		



自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のスタッフ会議にて職員の意見・要望を聞く機会が設けられている。また、その他でも管理者からも職員とラフに会話できるよう働きかけ意見を聞いてもらいやすく言いやすい雰囲気にある。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課にて個別に面談を行い個人努力や目標について詳しく聞き取りを行っている。その上で一人一人の職員の状況に合った環境で意欲を持って働けるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人本部・外部からの研修の案内は、職員全員が見ることができるよう回覧され希望者や管理者が適当と思われる職員には推奨するなどしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同区内の同業者間でネットワーク形成し一緒に勉強会や交流会を行うことによって意見交換など行いどうすればもっといいサービスを提供できるかなど提案している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	関連法人の相談員と協働し、前任のケアマネなどから情報を収集したり入居前に面談を行いできるだけたくさんのご本人の生活歴などの情報収集を行いご本人やご家族が安心してもらえるよう話し合いを重ね信頼関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用前には、ご家族やご本人には、見学に来ていただき、しっかりと説明を行うとともに、ご家族・ご本人からの要望や不安なこと、わからないことはないか聞き取りをしている。ご家族とのかかわりを大切に信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	その時その時でご本人やご家族に必要なと思われるサービスを提供できるように努めている。訪問歯科や訪問マッサージなど法人外のサービスも利用している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	認知症というものを理解し共に生活しているという気持ちでケアにあたるように努めている。時には、人生の先輩である利用者様よりいろいろなことを教えていただいたりしながら信頼関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族とは、面会時には、日常の生活の様子を伝えたりご本人の今まで歩んできた歴史などを聞き支援に役立てたりしている。また、何かあったときは、連絡し相談している。ご家族の置かれた状況に気を配り可能な限り支援に協力してもらっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	日常のレクでドライブがてらご本人のご自宅前を通り様子を見ていただいたり昔から通っておられた美容院にご家族協力のもと行かれたり、面会に来られるご友人やご近所の方たちが気軽に來ることができるよう親しみやすい雰囲気努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事活動や趣味活動などは一人でしていただくのではなく、皆で、時には、職員も間に入り、利用者間の関わりが出来るように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	体調不良や骨折などで入院が長引いている入居者様は職員が時々面会に行き様子を伺っている。ご家族にも連絡をして不安な事や心配事があれば傾聴している。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中でコミュニケーションをとり、ご本人様の思いやあ希望などをお伺いしている。意思表示が難しい方も、ご家族からの情報や本人様の表情やしぐさなどから意思を汲み取るように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時の基本情報だけでなく、日々の会話やご家族、面会に来られたご友人などからも生活歴などの情報収集を心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活や会話を記録し、普段と違う様子があった時には、職員間で情報を共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	職員は、ご本人やご家族の思いを日頃からお伺いし、ご希望やご要望を把握するようにしている。3か月に1回はカンファレンスを行い入居者様の必要なニーズに沿えるよう努めるとともに、ご家族ご本人からも要望を聞きケアプランを作成している。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居者様の日々の気づきや出来事は、共有のノートに記載し職員間で共有している。また、ケアプランに沿った生活記録ができるように、ケアプランと生活記録が一緒に見られるようにして、ケアの実践に努めている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	季節のイベントや外出は、ボランティアの方や地域の方の協力を得て既存のサービス以外の提供もできるように取り組んでいる。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の夏祭りに参加したり保育園の園児たちとの触れ合い子供会の神輿が来たりしている。年に1度は、家族会も開催して、家族会の交流も図っている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	希望があれば、歯科医は、訪問で受診できるようにしている。ご本人やご家族の希望でかかりつけ医はの受診も継続していただいている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員に看護師がおり、体調面やケア方法を相談している。週に1度の訪問看護でも職員が事前に相談事項をまとめて記録し報告している。必要時は、訪問看護師から医師へ報告し受診するなど連携している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、職員が詳しい経過観察を記録しておき、医師へ報告しご家族に担当医から病状や治療方針が説明されご本人・ご家族からの意向を聞かれている。入院後も電話などで話をし安心していただくようにしている。退院後は、看護部長が訪問した際に相談したりしている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期のあり方については、ご家族とのカンファレンス時や状態に応じては今後についての方針を管理者または職員が説明し話し合い、本人・ご家族の意向を踏まえ主治医や看護師と連携を取りながらケアを行っている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変、緊急時の対応については、管理者がリスト作成をしており指示のもと適切な対応を行っている。夜間時も迅速に管理者に報告し指示を受け対応している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を毎月行い、職員全員が対応できるようにしている。定期的に消防署の方に来ていただき訓練をしている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者のプライバシーを保護するため、職務上知り得た個人の情報を守っている。ケアの際は、入浴や排泄介助では、ドアを閉めたり大きな声かけをしないよう配慮したりお一人お一人にあった声掛け尊厳を大切に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	お茶の時間には希望される飲み物を提供したり日常生活の中でもお好きな趣味（編み物）や脳トレプリントをお勧めする際は、ご本人のやりたいものに取り組んでいただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床・就寝・食事などの時間は、ご本人の希望や体調にそった一人一人のペースに合わせた支援を行い安心して生活していただけるよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	食べこぼしなどあれば着替えをしていただき意思表示の出来ない方の洋服選びは職員が気を配りその方に合ったものを選び、カットは定期的に行いご家族ご本人の要望を伝えカットしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事ごとに献立を考えて入居者様が喜ばれるものを提供したりホームの畑でできた野菜や果物も取り入れお出ししている。味付け、盛り付けも工夫している。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎月の体重測定や血液検査による栄養状態をふまえ、お一人お一人に適した量をお出ししている。水分量は、毎食後、10時、15時その他入浴後など適宜お好きな飲み物をお出ししている。水分摂取の難しい人は、摂取量を記録・把握し、トロミをつけるなど工夫してお出ししている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを行っている。また、訪問歯科による治療、口腔ケア・口腔マッサージまた、ケアのアドバイスを受け、実行し良い状態を維持している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>尿意、便意のない方は、失敗のないよう適宜、トイレ誘導を行っている。一人一人の尿意や便意のパターンを把握しトイレ内にて排泄できるように援助している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘の方には、ヨーグルト牛乳を毎日飲んでいただき、十分な水分補給を行っている。また、医師からの処方にて調整している。体操も毎日行い散歩や廊下歩行にも努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者様、又ご家族様の希望に沿って個浴して頂いている。個浴の難しい方も2人介助にてゆっくりと入浴して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	テレビを見ながら寝られる方、 電気を付けて寝られる方、暗い 方が良い方、一人一人の生活 習慣にに応じ対応している。室 温にも配慮している。寝返りが 困難な方は、定期的な体位交 換を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	一人一人の服薬を記載した一 覧表をすぐに見られるよう行 動記録の一枚目に閉じている。 毎日のバイタルチェック、観 察、記録を行って、少しの変 化も見逃さないように努めて いる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。	お一人お一人に合った役割を 持ついただき、洗濯畳やお盆 拭き、メダカのエサやり、野 菜を切ったり洗ったりして頂 いている。計算プリントや漢字 プリントや間違い探しプリント などをしていただき達成感を 感じていただいている。散歩 や買い物・訪問イベントも行 っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるよう支援し ている。	気候の良い日は、散歩やド ライブに努めている。保育園 の運動会や地域のお祭り、 宮島への外出など季節が感 じられるよう支援している。		
50		○お金の所持や使うことの 支援 職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に応 じて、お金を所持したり使 えるよう支援している。	ご家族の了解の上、お金の 管理・所持されている方、 管理の難しい方も、近所 のスーパーやコンビニでお 好きな物を買って楽しませ ている。		



自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話を希望される方にはかけて差し上げお話ししていただき安心しておられる。手紙は、ホームより（スタッフが）毎月の行事の際の写真とメッセージをご家族の元へ郵送している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室や共同空間は木目調で落ち着いた雰囲気、リビングには、マッサージチェアが置かれ、季節感のある飾り付けをし、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共同空間には、テレビやソファ、マッサージチェア等設備し、思い思いが過ごしやすいよう絵本・雑誌のゲームやアルバム等、いつでも見れるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には自宅で使用されていたタンスや鏡・ベッド等を持ちこまれ、ご家族の写真が貼られたり置物を置かれ居心地よく工夫されている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレは、車いすが楽に入れるスペースがあり、使用方法も大きな字で分かりやすく書いている。廊下浴室には、安全に移動ができるよう手すりを設置し、できるだけ自立した生活が送れるよう工夫・援助している。		

V アウトカム項目( 2F ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム千同ひまわり

作成日 令和2年2月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	43	心身状態の変化から排泄活動に変化のみられる方も多く、またリハビリパンツや尿取りパッドなどの使用方法についても知識向上が必要になってきている。	専門家の指導を受けながら、リハビリパンツや尿取りパッドの特性を理解して睡眠の質の向上や自立した排泄活動ができるだけ続けていけるようにする。	専門家から、リハビリパンツやパッドの特色や使用方法など学び、指導のもと、一人ひとりの状態にあったリハビリパンツやパッドを提案してもらう。使用后、助言をもらい見直しする。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。